

大分県立病院を受診される患者さんへ

当院倫理委員会において、下記の治療法が承認されました。この治療法については、医師の説明のうえ患者さんから口頭で同意をいただき実施いたします。なお、病院ホームページに情報を公開することで、同意書をいただく代わりとしています。

この治療法にご質問がある場合や、同意されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。もし同意されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

医療の内容	アムルビシン療法 (肺外の神経内分泌がんに対する化学療法)
対象者	肺外の神経内分泌がん(NEC)再発例
承認日	2025年3月18日
対象期間	承認後から継続的に使用
概要	【目的・意義】 神経内分泌がん(NEC)は肺に発生する小細胞肺癌がその多くを占めますが、頻度は低いものの肺以外のさまざまな臓器に発生することがあります。 肺外に発生したNECはその頻度が低く確立された治療法がないのが現状であり、そのため小細胞肺癌に準じた薬物療法をおこなうことが推奨されています。 肺外発生 of NEC に対してアムルビシン療法を行います。アムルビシンは肺外 NEC に対して保険適用となっておりませんが、小細胞肺癌に対して国内外で広く使用されており、有効性・安全性が確認されています。 当院においても小細胞肺癌の化学療法に準じて本療法をおこなうことが妥当と判断される肺外発生 of NEC 症例に対して実施しており(主に2次治療以降)、保険診療として取り扱います。 【想定される不利益と対策】 制吐剤の予防投与などの支持療法を行います。血球減少などの副作用に対して、必要に応じて感染症の予防および治療を行い、また輸血療法などの細やかな支持療法(がん治療による副作用を軽減するための予防、治療およびケア)を行うことにより対応します。
お問い合わせ先	主治医 もしくは 大分県立病院薬剤部 代表 097-546-7111